

高校生との意見交換会初開催

矢板市議会だより



矢板市議会だより
2018年8月1日
第202号

編集／議会広報聴覚委員会
発行／矢板市議会
印刷／株式会社イデア

〒329-2192 矢板市本町5番4号
Tel : 0287-43-6216 Fax : 0287-44-1100
Mail : gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会
検索

高校生のみなさんからの手紙。

矢板市市制施行60周年の今年、市内の3高校と「高校生と矢板市議会との意見交換会」を開催しています。今号から、高校生のみなさんからいただいた感想や、矢板市に対するご意見・ご提言（一部）などを紹介させていただきます。
※高校生との意見交換会の様子は、議会のホームページから動画でもご覧いただけます。

1 通目



矢板高校3年
甲斐田 安菜さん
矢板市在住

今日の意見交換会で「山羊を貸し出して地域の方と交流してもらおう」という提案をしました。緊張したけど、楽しかったので後輩にも経験してもらいたいです。クラスの友達が軽トラ市などで高齢の方と接していると、普段と違ってかっこよく見えます。私自身はレシピ集や「アップルカレー」の企画時、アイデアを出して参加しました。

将来は働きながら栄養士の資格を取り、小学校の給食調理師になるのが夢です。矢板の特産品リンゴを使った美味しいスイーツを考案し、自分の名前から「あんあん」と名付け、子ども達に喜んでもらいたいです。矢板高校はおすすめの学校です。

矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいたから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

・FAX 028-44-1100
・Email gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
・封書など 〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局宛

次回 9 月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
					本会議 (開会)	
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (一般質問)			常任委員会		
16	17	18	19	20	21	22
		決算審査				
23	24	25	26	27	28	29
30				本会議 (閉会)		

・8/21 (火) 全員協議会 ・10/17 (水) 全員協議会
10:00開会 (変更の場合があります。)

議会を知る。

「矢板市議会だより」は、2月、5月、8月、11月に発行します。ご一読いただき、生活に密接に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会を見学する。

議会は自由に傍聴いただけます。ご希望の方は、議会開催日に矢板市役所3階にお越しください。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会の動画を見る。

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。また、会議の開催中は市役所1階のテレビで生中継も行っています。

議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出することができます。また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。※陳情等の提出方法は、P5をご覧ください。

+ 編集後記 +

早稲田大学マニフェスト研究所が実施した、議会改革度調査2017の結果が公表されました。矢板市議会は、回答のあった1318議会中117位と、2016年度の147位からさらに順位を上げることが出来ました。また、5月に矢板高校、7月には矢板中央高校の生徒さんを対象とした、意見交換会が開催されました。若い世代の貴重な意見を伺うことが出来ました。議会は常に市民の福祉向上のため、市民の皆様へ寄り添うものであります。今後とも全議員一丸となって、市政発展のために精進してまいります。

(藤田 欽哉)

※次号(第203号)は11月1日発行予定です。

暑中お見舞い申し上げます。

議員個人の暑中見舞い、初盆などの寄附行為となるものは、どのような名目であっても公職選挙法により禁止されていますので、自粛しております。ご了承ください。

このたびの平成30年7月豪雨により、被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と被災地の早期復旧を謹んでお祈り申し上げます。

第351回 6月定例会

平成30年度一般会計補正予算案などを可決

目次

高校生との意見交換会レポート	2
矢板市議会ニュース「4回目の議会報告会・意見交換会を開催します！」	4
6月定例会の審議結果／委員会審査レポート	5
市勢発展のために！「一般質問」報告	7
高校生のみなさんからの手紙	12



矢板の将来を担う！ 一緒につくる！

5月28日、矢板市議会「初」開催となる高校生との意見交換会を矢板高校の皆さんと一緒に行いました。これからのまちづくりについて、今の学びを活かした多くのアイデアをいただき、意見を交換。熱く、楽しい、建設的な時間となった開催当日の様様をご紹介します。

1. 自己紹介



意見交換会のスタートは、高校生、担当議員、全員の自己紹介から。最初は緊張している感じが伝わってきましたが…。この後のグループワークでは、それぞれの熱い思い、意見を聞かせてくださいました。

2. 議会クイズ

議会の仕事、仕組みなどを、クイズを織り交ぜながら議長が説明。選挙権が18歳の今、議会からの一方通行な説明ではなく、高校生自ら議会について考えていただく演出にしました。少しでも理解が深まっていたら嬉しいです。



議会の仕事は何だと思いますか？
1番？ 2番？



3. グループワーク

今回のメインの時間。4グループに分かれて、グループディスカッション。現在の学び、興味関心をまちづくりにどのように活かせるのか。意見を交わしながら、発表のまとめへ。矢板市への要望含め、多くのユニークな意見が活発に出され、予定の1時間があっという間でした。



GROUP①
農業経営科&栄養食物科のみなさん

道の駅の新しいメニュー開発について意見を交わそうか。



GROUP②
機械科&電子科のみなさん

駅前のクリスマスイルミネーション、良いアイデアある？



GROUP③
社会福祉科&JRC&矢板武塾生のみなさん

福祉と栄養食物。みんなの専門を活かしてまちづくりを考えたいね。



GROUP④
部活動代表のみなさん

スポーツを軸にしたまちづくりについて考えてみましょうか。

高校生との 意見交換会 レポート



4. プレゼンテーション

グループワークでまとめた「矢板の将来のまちづくりのアイデア」をプレゼン。各グループの特色を活かした内容、堂々とした発表。とても頼もしいメンバーでした。



GROUP①
農業経営科&栄養食物科のみなさん

矢板市のイベントに参加していますが、イベントの知名度を高めていきたい。また、小学生との交流がメインなので、色々な団体との交流をもっとしていきたいと思います！



GROUP②
機械科&電子科のみなさん

ふるさとまつり、軽トラ市では電気機関車、電子オルゴールなどのイベント、駅前イルミネーションでは電子掲示板の協力をしました。さらに全面協力をしていきたいです！



GROUP③
社会福祉科&JRC&矢板武塾生のみなさん

高校生も家族連れの方々も、障がいをお持ちの方も誰でも楽しめる「ごちゃまぜCafe」をつくりたいです。美味しいメニューも開発して、介護食も楽しんでもらいたいです！！



GROUP④
部活動代表のみなさん

僕たちができることは、部活動を活かしたスポーツ教室。矢板市にお願いしたいのは、運動公園の整備と歩道の除雪です。僕たちも矢板市も頑張ることが大切だと思います！

5. 講評

意見交換会の最後に、矢板高校の菅野校長先生から、講評をいただきました。開催に向けて準備段階から当日まで、先生方、生徒さんたちの多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました！皆さんと交わした意見、議会として活かしてまいります。

みんなの発表、すばらしかった！「やれば、できる！」自信になってくれたと思います！



+ お知らせ +

高校生との意見交換会
実施スケジュール

7/2日 矢板中央高校
開催済み。動画配信中！

10/9日 矢板東高校
開催に向けて準備中。

どちらの結果も今後の議会だよりでレポートいたします。

市議会の旬をお知らせ！

矢板市議会ニュース

YAITA
COUNCIL
NEWS

1 4回目の議会報告会・意見交換会を開催します！

今年も議会報告会・意見交換会を開催します。2部構成で、第1部は前年度決算の審議内容についての報告会、第2部は意見交換会。

下記のテーマで課題、将来展望について付箋を使ってのグループディスカッションを予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。



開催スケジュール & 意見交換会のテーマ	テーマ1 ※3会場共通	テーマ2 ※会場別
10/10(水) 泉公民館	人口減少対策について	観光振興について
10/11(木) 片岡コミュニティホール		子育てしやすい環境づくりについて
10/12(金) 矢板市文化会館小ホール		空き家等対策について

※時間は3会場すべて、19時～21時です。※お申し込みは不要です。ご都合の良い会場にお越しください。

2 議会改革ランキングで過去最高の順位！

全国 **117**位(147位)

県内 **2**位(4位)

※()内は昨年度の順位

早稲田大学マニフェスト研究所による全国の地方議会対象の「議会改革度調査 2017」のランキング結果(1318議会回答)で、過去最高の順位となりました。これは「情報共有」、「住民参加」、「機能強化」の観点から採点される議会の通信簿のようなもの。今後も市勢発展のため、議会改革を推進してまいります。

3 全国市議会議長会にて表彰を受けました。



渡邊孝一
議員



中村久信
議員



宮本妙子
議員

5月30日、第94回全国市議会議長会定期総会において、矢板市議会議員が下記のとおり表彰を受けました。

【正副議長在職4年表彰】

渡邊孝一議員、中村久信議員、守田浩樹元市議

【議員在職15年表彰】

中村久信議員、宮本妙子議員

※議員在職15年表彰については、中村有子議員、石井侑男議員が受章を辞退されています。

第351回 6月定例会(6月1日～6月14日)の審議結果

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第1号 平成29年度矢板市一般会計補正予算(第7号)	全会一致 で賛成	承認
第2号	市長の専決処分事項承認について 専決第2号 矢板市市税条例の一部を改正する条例		
第3号	市長の専決処分事項承認について 専決第3号 矢板市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例		
第4号	市長の専決処分事項承認について 専決第4号 矢板市都市計画税条例の一部を改正する条例		
第5号	平成30年度矢板市一般会計補正予算(第1号)		
第6号	矢板市市税条例等の一部改正について		
第7号	矢板市都市計画税条例の一部改正について		
第8号	矢板市体育施設設置及び管理条例の一部改正について		
第9号	矢板市介護保険条例の一部改正について		
第10号	矢板市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
第11号	矢板市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		

請願・陳情は、こんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。請願書・陳情書を提出する方は、以下の要領でご持参ください。

■様式

・用紙サイズはA4版。右の様式に準じて日本語で作成してください。

■内容

・簡単な趣旨、理由、提出日、請願者(陳情者)の住所、氏名を記載し、押印の上、ご提出ください。

※請願書には、必ず1人以上の紹介議員(矢板市議会議員)の署名、または記名押印が必要です。陳情書には紹介議員は必要ありません。

※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

■受付期日

定例会(3月、6月、9月、12月)開会日の10日ぐらい前までにご提出ください。市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。

お問い合わせ先：議会事務局 TEL：43-6216

請願書様式

(表紙)
○○○○に関する請願書
紹介議員 氏名 印

(内容)
件名 ○○○○に関する請願
要旨
理由
地方自治法第124条の規定により、上記の請願書を提出します。
平成 年 月 日
請願者(代表)
住所
氏名 ○○○○ 印
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)
矢板市議会議員 様

陳情書様式

(表紙)
○○○○に関する陳情書

(内容)
件名 ○○○○に関する陳情
要旨
理由
平成 年 月 日
陳情者(代表)
住所
氏名 ○○○○ 印
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)
矢板市議会議員 様

議案をこのように審査しました。

委員会 審査レポート

総務厚生常任委員会

◎佐貫 薫 ○関由紀夫 藤田欽哉 和田安司
中村久信 石井侑男 中村有子 渡邊孝一

議案第1号

・市長の専決処分事項承認について 専決第1号 平成29年度矢板市一般会計 補正予算（第7号）

概要 歳入歳出にそれぞれ8881万2千円を追加計上し、予算総額を135億1501万2千円に補正したもの。

結果 全会一致で可決

議案第2号・第3号・第4号

・市長の専決処分事項承認について 専決第2号 矢板市市税条例の一部を改 正する条例 ・市長の専決処分事項承認について 専決第3号 矢板市国民健康保険税条例 の一部を改正する条例の一部を改正する 条例 ・市長の専決処分事項承認について 専決第4号 矢板市都市計画税条例の一 部を改正する条例

概要 地方税法等の一部を改正する法律等が平成30年3月31日に公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正したもの。

結果 全会一致で可決

議案第5号

・平成30年度矢板市一般会計補正予算 （第1号）

概要 歳入歳出にそれぞれ5億4970万円を追加計上し、予算総額を150億3870万円に補正するもの。

質疑 ふるさと納税返戻品の費用として当初予算で1億円を措置していた。今回3億円の増額補正ということだが、その根拠は。

説明 6月現在、ふるさと納税寄附金は1億3千万円集まっている。前年同期と比較すると約13倍の数字である。今後の見込みはつかないが、今回の補正では3億円の増額が妥当な線であろうとの判断である。

結果 全会一致で可決

議案第6号・第7号

・矢板市市税条例等の一部改正について ・矢板市都市計画税条例の一部改正について

概要 地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

結果 全会一致で可決

議案第9号・第10号・第11号

・矢板市介護保険条例の一部改正について ・矢板市指定地域密着型サービスの事業の 人員、設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部改正について ・矢板市指定地域密着型介護予防サービス の事業の人員、設備及び運営並びに指定 地域密着型介護予防サービスに係る介護 予防のための効果的な支援の方法に関する 基準を定める条例の一部改正について

概要 介護保険法施行規則等が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

結果 全会一致で可決

経済建設文教常任委員会

◎伊藤幹夫 ○小林勇治 高瀬由子 櫻井恵二
宮本妙子 今井勝巳 大島文男 大貫雄二

議案第8号

・矢板市体育施設設置及び管理条例の一部 改正について

概要 指定管理対象施設を拡大することに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

結果 全会一致で可決



市勢発展のために！ 「一般質問」報告

市政を 問う。

6/4～6

市政の課題や将来の展望について質す一般質問。
6月議会では、9人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい！」
各議員の熱い思い、ご一読ください。



石井 侑男 議員

【今回の質問】

1. JT倉庫跡地について
2. 道路網の整備について
3. 国民健康保険の運営について
4. 教育環境の整備について
5. JR矢板駅橋上駅の整備について

道路網の整備促進について問う。 学校教室のエアコン設置について問う。

質問

本市は交通アクセスに恵まれている。この地の利を活かし、一層のまちの活性化、市勢発展を図る上で道路網の整備促進は必要不可欠と考えるが、都市計画道路および幹線道路の整備の進捗状況について問う。

答弁

現在、国道4号、片岡西通り、塩谷喜連川線、そして、片岡駅東口やわかば通り、さらには矢板北スマートインター線や安沢・越畑14号線等の整備を進めている。道路網の整備は地域住民の利便性向上と地域活性化に極めて重要であることから、路線の優先順位や必要性を見極めながら整備の促進に取り組んでいく。

質問

近年は、地球温暖化の影響で夏は猛暑、冬は極寒に見舞われている。文科省は教室の温度は10℃以上28℃以下が望ましいと基準を示している。快適な環境整備は教室の充実、学力向上に大いに寄与する。近隣の市町はすべての小中学校に設置済である。本市も早急にエアコンを設置すべきと考えるが、当局の見解を問う。

答弁

現在、県内の公立小中学校の約7割が設置済である。今年度小中学校適正配置検討委員会を設置し適正規模・適正配置等について基本方針、方向性をまとめる。それに鑑みながら財政当局と調整し順次整備する。

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。
※議員写真右下のQRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。



関 由紀夫 議員

【今回の質問】

1. (仮称) とちぎフットボールセンターについて
2. 認知症カフェについて
3. 地域包括ケアシステムについて

(仮称) とちぎフットボールセンター、市の関わり方と今後のスケジュールは。

質問

とちぎフットボールセンターの整備は民設民営で行うこととなったが、市はある程度その運営主体と関わりを持つ必要性を感じるが、どのように考えているか。

答弁

運営主体への10年間の土地使用貸借契約による貸し付けと固定資産税額相当分の支援を行う。また、フットボールセンターを拠点とし、スポーツコミッションの事務局や特色を活かした健康づくり事業等の実施が可能かを検討している。施設整備と管理・運営に関し、今後も、必要に応じて互いに連携・協力を図り、市が支援を行うべきと認識している。

質問

とちぎフットボールセンターの今後の施設整備スケジュールについて伺う。

答弁

平成30年9月に土地使用貸借契約を経て、10月に工事着工、平成31年3月に工事完了予定となっている。市としても、施設の管理区分や事業の責任分担などを調整し、土地の使用貸借ならびに外構工事費の補正予算を9月議会に提出し、承認をいただければ運営主体のスケジュールに合わせ、外構工事を3月に完成させたいと考えている。最終的には、平成31年4月オープンに向け、運営主体と連携を密にし、進めていく。



中村 有子 議員

【今回の質問】

1. 食品ロス削減の推進について
2. 子育て支援について

食品ロス削減を市民運動として推進へ！孫育てを応援する祖父母手帳の導入を！

質問

食品ロス削減は、世界的な課題となっている。さらに市民運動として推進を図っていくために食べきり協力店の導入、啓発用パンフレットの配布、研修会等の開催など具体策について伺う。

答弁

市内飲食業者に対し「とちぎ食べきり15運動」推進の協力店として引き続き協力をお願いしていく。さらなる意識啓発のため、一般家庭を対象にしたチラシを作成し、全戸に配布していく。研修会等の実施については、国の講師派遣制度を活用するなどし、市独自の開催は、実施体制や方法を密に検討していきたい。

質問

育児の方法は、祖父母世代と父母世代では認識に違いがある。現在の子育てに関する情報を掲載した育児を手伝う祖父母世代をサポートする冊子「祖父母手帳」等の作成の考えを伺う。

答弁

子育てに祖父母を含め多様な人材が関わることで、育児負担の軽減が図れ、産後うつ予防に有効なことや、赤ちゃんの健やかな成長に繋がっていく。一方で、社会の変化により祖父母世代と現在との子育て環境に違いがある。育児の基礎知識も変化している。これらに対応するために情報提供ツールとして「祖父母手帳」は有効。準備し配布していく。



伊藤 幹夫 議員

【今回の質問】

1. 国道4号拡幅及び矢板大田原バイパスについて
2. 廃校の活用について
3. 空き家等対策計画策定について
4. 文科科学省第2期教育振興基本計画について

国道4号バイパスの道の駅新設について。文科省第2期教育振興基本計画について。

質問

国道4号バイパス整備に伴い、地域振興にも繋がり観光拠点となる道の駅の新設の考えについて伺う。

答弁

道の駅しもつけ以北は福島県にある道の駅安達まで、約170キロメートルの区間には設置されておらず、矢板市は概ね中間の地点に位置していることや、休憩機能といった観点から設置の必要性は高いと考えるが、設置にあたり道路休憩施設の整備は道路管理者が行うことや道路整備の詳細が示されていないことから、時期を見て関係機関との協議が必要。また、交通量は多いが同様の施設を設置しても誘客策に繋がりにくい。

質問

文科省第2期教育振興基本計画の「未来への飛躍を実現する人材の養成」の中で、英語力の目標が中学校卒業段階で「英検3級」程度以上を50%目標に掲げているが、全国平均、栃木県平均、矢板市の現状と今後の取り組みについて伺う。

答弁

文科省が実施した英語教育実施状況調査においては、全国平均が40.7%、栃木県平均が39.0%という結果が公表され、市町村単位での公表はされていないが、矢板市は県平均より低い状況にある。英検については、受検を推奨し、検定料の助成なども検討していきたい。



櫻井 恵二 議員

【今回の質問】

1. 企業誘致について
2. 片岡駅東口市街地の整備について

企業誘致について。片岡駅東口市街地の整備について。

質問

矢板南産業団地への企業誘致は新聞報道では好調とのことだが、最新の実績はどうか伺う。

答弁

平成29年度においては、自動車部品製造業1社、製造業3社、運送業1社の5社と契約の締結がなされ、特に、自動車部品製造業を皮切りに、昨年6月に7年ぶりの新規分譲となり、新聞でも報道されたところである。販売開始から現在までの実績は、契約企業を含めると16社、分譲可能な区画は残り1区画となり、分譲率は約91%で、完売に大きく近づいたところである。

質問

片岡駅東口整備とあわせて民間主導の開発を進めてはどうかと思うが考えを伺う。

答弁

片岡駅東口周辺は近隣商業地域に指定している。また、公共交通網の充実したところであることから、地域住民の生活利便性向上とともに、商業振興の拠点として期待されているが、農地など未利用地も多いことから、開発のポテンシャルは比較的高い地域と受け止めている。民間活力による開発を促進することは、有効な手段の1つと考えるが、行政と民間の役割分担など課題も多い。調査研究を行いながら整備に取り組む。



高瀬 由子 議員



片岡から矢板へ「駅からハイキング」を！ 施策提案表彰で協働のまちづくりを！

質問

片岡駅から矢板駅へと両地区の商店街を通り、マルシェ、いちご狩りや温泉巡りなども体験できるコースを設定し、片岡と矢板両方の商店街の活性化を図ってはいかがでしょうか。

答弁

矢板市では平成 16 年度から 16 回「駅からハイキング」を開催、約 5500 名余が参加。同じ駅発着でなくとも魅力ある立ち寄りスポットである観光資源・イベントなどを組み合わせ開催可能である。テーマやコースの設定、おもてなしなども含めた企画案のひとつとして、片岡と矢板両方の商店街活性化に繋がるよう体験イベントなどを加えていけたらと考える。

質問

市民・議会・市協働のまちづくりの先進事例が多数ある。市民や市職員の施策提案を表彰周知し協働のまちづくりを推進してはいかがでしょうか。

答弁

本年度から矢板創生推進交付金制度を創設し、自主的かつ先駆的な地域づくりを進める行政区の支援を図る。「市長への手紙」、市ホームページ上での提案募集の中で優れたものは公表している。それらに加え、積極的にまちづくりに取り組む方を広報やいたや「やいこみゅ」などで紹介する。市職員においても業務改善や所属を超えた施策提案がなされるよう活発な組織づくりに邁進する。



佐貫 薫 議員



道の駅やいたは地産地消を守るべき。 次年度以降の運営方針を問う！

質問

平成 23 年の開業以来、毎年、右肩上がりの成長を続けている道の駅やいたについて、次年度から第 3 セクターでの運営が始まる。

毎年、成長を続けているという事実は、地産地消のコンセプトがお客さまに支持されていることの証である。次年度以降、短期的な売上確保のために「何でもする」のではなく、本来の目的である矢板市の農業振興を果たすために地産地消を守ること。

さらに、次の成長段階として矢板市の経済成長を担う施設に育成していきたい。そのためには、道の駅単体の利益追求だけではなく、お客さまを市内に循環させる方策が必要である。次年度の方針について問う。

答弁

次年度以降についてもできる限り矢板市産にこだわる地産地消のコンセプトは守る方針である。ただ、品数が不足する時期もあるなど、現状での課題もあるので、状況によって地産地消の定義をさくら市、塩谷町、高根沢町を含めた 2 市 2 町に広めることも考えている。

また、道の駅単体の売上アップはもちろん、市内経済の活性化のために情報発信の強化、事業領域の拡大など、次年度に向けて方針、戦略を今後詰めていく。

【今回の質問】

1. 道の駅について



中村 久信 議員



小中学校の繁忙の実態と対策を問う。 中小企業退職金共済制度について問う。

質問

メンタルヘルス不調による教職員の休職が増加傾向にある。また、繁忙は子どもたちにとって悪影響をもたらす。その実態の把握と、対応策の 1 つとして部活動における外部人材の活用について問う。

答弁

平成 28 年度から教職員ストレス調査を実施しており、職場の環境改善を働きかけている。部活動における外部人材の活用については、教員の負担軽減、多忙感解消、部活動の質的向上に有効であり現在 8 名を予定している。しかし、人材確保等の課題もあり他市の導入状況等も含めて調査研究をしていく。

質問

中小企業に働く者の将来の安心と雇用確保、矢板市の産業振興の観点から退職金制度は重要である。国の退職金制度として「中小企業退職金共済制度」があるが、その活用状況と補助の創設について問う。

答弁

栃木県内の共済契約事業所は 5505 事業所で 42309 人が利用しており、矢板市内では 96 事業所 654 人となっている。平成 30 年 3 月現在で県内 7 市町が掛金補助を実施しており、矢板市の補助については、これらを参考にしながら中小企業の従業員の福祉増進と雇用の安定を目的を考慮し、制度の創設について検討していく。

【今回の質問】

1. 道の駅について



今井 勝巳 議員



地籍調査のさらなる推進を。

質問

さらなる地籍調査を進めるために駅西地区の現状は。また、平成 31 年度で終了する第 6 次 10 年計画の次期計画の方針は。

答弁

地籍調査が不可能と思われる地区は鹿島町を除くほぼ全域であり、筆数は約 1150 筆、所有者数は市内約 370 名、市外約 90 名の約 460 名。次期計画には空き地・空き店舗活用再生事業の中で地籍調査対応可能とされた 12.9ha を第 7 次計画に盛り込みたい。

質問

全体の 20%にも満たない。さらに進めるために国の地籍アドバイザー制度活用や、地籍調査以外の手法の検討、

都市部官民境界基本調査の導入、地籍混乱解消委員会の設置について、どう考えるか。

答弁

地籍アドバイザーは分野ごとに活動をしており、活用は有意義なものと考えているが地図混乱に対応できるか確認した上で検討する。公図整備については、地籍整備型区画整理や集団和解による地図訂正の手法が考えられる。また、法務局に対し、地図整備事業を要望していく。都市部官民境界基本調査は、本市のように旧国道 4 号が公図上に存在しないような箇所がある地域については不向きな制度であるが、国・県の関係機関と協議を進め、あわせて調査研究を行う。特別委員会については、手法に応じてどのような委員会の形が良いか調査研究していく。

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。
※議員写真右下の QR コードから各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。